



2007.10.13.設立記者会見。芦田代表理事と宇田川一男副理事長。

——業界人ではない人はそれとして、ベテランのアニメーターKさんの行動がよくわかりません。彼女が委任状を下さいと言うので、仲間だと思って僕は出しました。とても予想のつかないことに使われた委任状だったけれど……。

芦田 ここでもう一つ話しておかなければならないのは、文化庁に交渉に行った件で6月6日の投票により芦田・宇田川が罷免されました。でもKさんはなぜ理事じゃなくなったの？ってみなさん疑問に思っているのではないですか？この件については、他の人にも取材してほしいのですが、今回最初に採用されそうだった4本中の1本(サンライズ制作)がKさんの原作およびキャラクター・デザインで、さらにKさんの旦那が監督で出されていた。それはやっちゃいけないでしょうって思います。サンライズのプロデューサーの方と話している時に、業界に公募し公平、公明正大に選考すべき事業においてこの仕事に大きな権力を持つKさん自身の応募はおかしいインサイダー取引になりえる。そして善意で制作に関与してしまったサンライズ自身のスキャンダルにもなりえる。サンライズは「これはやりません。引き上げます。」という話になった。それで同じ理事会の場でKさんについて動議を出して罷免されたのです。

——芦田さんがご自身の辞める条件として、貴女も辞めろとおっしゃったわけではなかったのですね。

芦田 私が辞めたことと、Kさんが辞めたことは全く関係ない。たとえ、文化庁が「自分達の企画書を出してもいいよ」と言ったとしてもそうじゃない。JAniCAではだめだ。事業の内容上、アニメ業界は許さないと思うのです。自分としては、そっちの方が圧倒的に強いわけですよ。文化庁が何を言っても関係ない。そんなことをやっている、アニメ業界にJAniCAの面目が立たない、こちらの方が大切なわけですから。同日論争になって私よりも随分若い奴にとっても印象的な言葉を吐かれた。「もっと大人になれ!」と。

公明正大、透明性を確保しなければならないJAniCAの事業に「大人になれ」とは!? これはどういうナゾナゾだ。

しかも35年会社を経営してきた私に向かって「大人になれ」とは(笑) 会社経営は大人にならないとできるはずがない。しかし、JAniCAは「大人」になってはいけいけいはずだ。

それ以来当事業において「大人になる」とはどういう事なのかいまだに考え中ですが……。

——業界にはいろいろな考え方をしている人がいるわけで、少しゆるやかな集合体にならないとまとまらない、一つの形にならないと考えてはいました。いろんな人がいてもいいけど、目の金で右往左往されては困りますね。

芦田 「アトム」以来40数年間、こういう組織はなかったわけですから、もう少しゆっくりでもいいかなと思っていました。5、6年かけて形になっていけばいいかなってくらいのもりだったんです。たしかに誰でもお金は欲しいけど、それは3年4年かけて得ていけばって思っていたんです。

結果、総会では世代交代人事ということで発表されました。しかしただ一つ良いことがあったかもしれません。55歳以上が理事になれないという前例ができてしまったことです。(笑)

——結果的にバラバラになってしまったのではアニメーターの育成どころではないので、その辺も考えてくれなかったのでしょうか。

芦田 たしかに、文化庁の仕事が取れそうな時に、Kさんから「金の臭いがするところに群がってくる」って言い方をされたんだけど、自分が動いて文化庁から仕事を持ってきたならば、自分の今まで言ってきたことを実践すると同時に、今まで一緒にやってきた仲間と協力しあって、仕事を分けあって、アニメ業界で流通している

レートによって利益を配分すべきである。それで、アニメ業界というのは一流の原画マンが年収300万の世界ですよ。それで一年中休みなく働いて、300万、350万で動いているわけですよ。そこでフィクサーや管理もどきをやって、それ以上の金を得るとことは業界外の人間であつたとしてもアニメ業界では許されないでしょう。よその国へ行ったらその国の収入に合わせるって言うのが普通で。「省庁と関わった時の自分の時給は5万である。だからアニメ業界に関わった時も5万である」っておかしい話でしょ。それが「文化庁がいいって言っているもん」って言われても、僕らは納得できません。

——お金といえば、最初から芦田さんは事務所を提供したり、金銭面でもJAniCAを支えていますね。

芦田 (JAniCAは)最初からお金がなかったのですが、私がちょこちょこ大金ではなかったのですが、活動費用を出しています。それはいずれ5、6年して戻ってくればいかなって思っていたんです。まあ少ないお金であれ、それを振り投げるほど、私はお金持ちではありませんので、せめてそれは返してもらおうかと思っています(笑)。

最後に私と一緒に辞任の憂き目にあった副理事の宇田川は常日頃「JAniCAは友情と信頼の連鎖から成り立っている」と発言していました。この意味が判らなければJAniCAの未来は暗いでしょう。今更ですが。

——今日は長時間にわたり、お話しありがとうございました。僕も解決にむけてがんばります。

2010.10.29 荻窪のオープロダクション第2スタジオで収録  
聞き手/文責:なみきたかし  
テキスト:四元明日香、菅沢悦子